

健康食品ワールド 第 29 回テーマ：「生活習慣病予防と新制度」

健康食品ワールド読者の皆様

こんにちは。

(株)グローバルニュートリショングループ 梶川です。

業界が注目していた先月 27 日（木）の第 7 回「食品の新たな機能性表示制度に関する検討会」において、機能性表示の新制度についての議論が進み、新制度の外郭が見えてきたかと思えます。残り 2、3 回を予定している検討会を踏まえ、来月中には消費者庁の報告書が纏められる予定ですが、来月以降は、新制度にどのような対応していけばよいのかについて業界の動きが活発化してくるのでしょうか。

検討会の前日、25 日（水）には、弊社の設立 10 周年謝恩セミナーを開催いたしました。今回の新制度は米国の DSHEA（ダイエタリーサプリメント健康教育法）を参考としていますが、スピーカーとして米国からお招きしたローレン・イズラエルセン氏は、20 年前に DSHEA 法案の議会での通過に尽力した業界のキーマンで、講演の中で DSHEA 制定後、米国のサプリメント市場は変化、成長を遂げ、1994 年以降年平均 7-8%増で推移し、過去 20 年で 62 億ドルから 345 億ドルに市場が拡大したと述べていました。また、市場が拡大していく中でウォール街によるサプリメント会社への投資や大手企業によるオーナーサプリメント会社の買収、大手小売りの新規参入など業界の様相が変化したともお話しされていました。

過去 20 年で大きな変貌を遂げた米国と現在の日本のサプリメント市場を比較すると、色々な違いが見えてくるのですが、米国にあって日本ではぴたりと当てはまるカテゴリーがないものとして「ハートヘルス（心臓の健康）」が挙げられるかと思えます。心血管系の健康としては日本では、高血圧、血中脂質低減（コレステロール低下）あたりが該当しますが、生活習慣病カテゴリーは、特定保健用食品の分野であり、効果効能を消費者に伝えることができる大型ブランドのトクホ飲料が市場を独占してきました。また、高血圧、コレステロール対策として、年齢が上がるにつれ数値が高くなりがちな中高年、シニア層は病院で処方された薬を飲むことが一般化しており、効果を分かりやすく消費者に伝えられないサプリメントは、この分野では特に市場形成が難しかったと思われる。

一方の米国では、「ハートヘルス」は、「スポーツ、エネルギー、ウェイトロス」、「健康維持」に次ぐ第3のカテゴリーで、2012年の市場規模は23億ドル、対前年比6.9%増と好調に推移しています（出所 NBJ）。心臓の健康の代表的な素材は魚油（DHA・EPA）とCoQ10で、その他はマルチビタミン、ビタミンB、植物ステロールなどが心臓の健康を訴求しています。構造機能表示事例としては、「GNC Triple Strength Fish Oil 1500」という商品では「May reduce the risk of coronary heart disease（冠動脈性心臓病のリスクを減らす可能性があります）、Helps maintain healthy cholesterol and blood pressure（健康的なコレステロールと血圧の維持を助けます）、CoQ10サプリメントでは、Clinically shown to support heart health（臨床試験で心臓の健康をサポートすることが証明されています）」など、消費者に分かりやすい表示がなされています。国民皆保険制度がない米国では、将来の疾病予防のためのサプリメントの継続摂取は、大きな購買要因のひとつであるかと思いますが、日本人にとっても科学的なエビデンスにしっかり裏付けされた安全な食品で予防することができれば、それに勝るものはないのではと思われれます。そういえば、5月に放送されたクローズアップ現代「健康食品が変わる 規制改革の波紋」でも「心臓の健康」と謳えるようになるかもしれませんと事例として紹介されていましたね。

18日付の日本経済新聞に日本内科学会など10の学会が来年4月を目途に生活習慣病について共通の治療指標をつくり、学会ごとにバラバラであった病気の診断基準や治療の進め方を統一するという報道がありました。現在、学会ごとに診断基準がバラバラになっている血圧やLDLコレステロールの診断基準、治療の進め方を統一し、病気の早い段階での対処を可能とすることに加え医療費削減も大きな目的のひとつと思われれます。4月には人間ドック学会が健康診断の新たな基準値を発表していますが、投薬が必要となる前に食生活など生活習慣を改善することで将来の心筋梗塞、狭心症など心疾患発症予防効果を期待できると思われ、サプリメントの果たす役割は大きいと思われれます。

「安全性が確保され、有効性についてはエビデンスでしっかり証明されたサプリメントを摂取することで将来の生活習慣病を予防する」という認識が消費者に浸透し、市場が活性化されることを期待したいと思います。

今号の「武田のおもいつき」では、上記の4月の日本人間ドック学会の報告に関しての考察、海外事例では、米国の心臓の健康を訴求した商品、トピックスをご紹介します。

どうぞ最後までお付き合いください！

■ 今回のテーマ：「生活習慣病予防と新制度」

□ ■ I n d e x ————— — — — — — — — — — —

【1】 健食業界 25 年「武田の思いつき」

【2】 心臓の健康に関する海外事例

【3】 編集後記

【1】 健食業界 25 年「武田の思いつき」

4 月 5 日の各メディアで『健康診断の基準見直しについて日本人間ドック学会と健康保険組合連合会が健康診断や人間ドックについて「異常なし」とする基準を緩めることを発表』という内容の記事が報道されました。（GNG 会員企業様には号外として各社の報道をお送りいたしました）。朝日新聞（デジタル版）では『血圧や肥満度などについて、健康診断や人間ドックで「異常なし」とする値を緩めると発表しました。国内で人間ドックを受けた人の値を調べたところ、血圧やコレステロールの値がこれまでの基準より高くても「健康」でした。学会は新基準を 6 月に正式に決め、来年 4 月から運用する予定。』と報じていました。このような状況を見て 4 月 7 日、日本人間ドック学会は「4 月 4 日報道機関へ公表した内容について」と題する文書を公開しています。この文書の中で『現在平成 25 年度分事業実施報告書として取りまとめ作業に入っている段階であり、予定として 5 月をめどに最終報告書を取りまとめることになっております。公表しましたデータについては、この取りまとめ中間報告として厚生労働省及び報道機関へ公表したものです。』と述べており『現在のデータは単年度の結果であり、今後数年間さらにデータ追跡調査をして結論を出していくこととなります。従いまして今すぐ学会判定基準を変更するものではなく、厚生労働省には特定健診の保健指導基準が性別、年齢別によって数値が違ふものがあるという事実をご報告した段階であることをご理解いただきたいと考えております。』と結んでいます。詳細は日本人間ドック学会 HP*をご覧頂きたいが、今回の報告書を受けて、学会のガイドライン委員会、役員会等で議論した上で、健康診断の現場で使える判定基準を作成していきたい、としています。性差医療・年齢差医療に向けて一歩が踏み出された形となっています。また、5 日の記事を読んだ際には特定保健用食品の位置付けはどうなるのか気になりましたが、

特定保健用食品が「食生活等が原因となって起こる生活習慣病等に“罹患する前の人”もしくは“境界線上の人”を対象とし、それらの食生活を改善して、健康の維持増進に寄与する食品」と定義されているので、むしろ活躍の場が広がる可能性が高いのではないかと思います。

*日本人間ドック学会参考 HP <http://www.ningen-dock.jp/other/release>

≫≫2014年4月15日発行 GNG ニュースレターより抜粋

【2】注目！関係の業界ニュース（国内&海外編）

▼米 FDA、GOED が申請した DHA/EPA 摂取と血圧に関する表示に対する審査を開始 (2014/5/12)

(GOED メンバー向けニュースより)

米 FDA は、オメガ3 業界団体 Global Organization for EPA and DHA Omega-3s (通称 GOED) が申請した、DHA・EPA 摂取と血圧に関するヘルスクレームに対する審査を始めた。まず申請日から 90 日以内に、包括的レビューを実施するかどうかを審査し、実施する場合は、ヘルスクレーム案を公表する。FDA から返信がない場合は申請が却下されたということになる。その後 270 日以内に評価の結果が出され、問題なければ FDA 最終案として発表される。GOED が申請したのは、DHA・EPA と血圧に関する表示で、70 件の研究結果をメタ分析した論文が根拠となっている。GOED は、多数の論文審査があるため FDA の審査も時間がかかるだろうと見ている。

≫≫2014年5月15日発行 グローバルニュース速報より抜粋

▼Omega Wonders 社、オメガ7サプリメント「Cardia」を発売 (2013/12/16)

http://newhope360.com/supplements/omega-wonders-launches-omega-7-supplement?cid=nl_npi_daily&&sfvc4enews=42&cl=article_9

Omega Wonders 社、オメガ7を含有するサプリメント「Cardia」を発売した。同品は、サジーやマカデミアナッツ、魚油などにも含まれるオメガ7脂肪酸を主成分としている。最近の二重盲検プラセボ対照試験では、210mg のオメガ7の摂取は健康的なコレステロール、中性脂肪値を維持し、炎症反応を抑えることに寄与する事が、

知られている。ソフトカプセル型、30粒入りで34.95ドルでインターネットで販売されている。

▼「Cardia」

↳ <http://www.omegawonders.com/product/cardia-7-autoship/>

≫≫2013年12月20日発行 グローバルニュース速報より抜粋

▼Nordic Naturals社、EPA1,600mg配合の「EPA Elite(TM)」を新発売(2013/07)

↳ http://www.nordicnaturals.com/en/Products/Product_Details/514/?ProdID=1690

オメガ3サプリメントのNordic Naturals社は、EPAを2粒あたりに1,600mg配合したサプリメント「EPA Elite(TM)」を新発売した。同品は同社のEPAサプリメントの中で最もEPA含有量が高く、パワフルな商品となっている。商品ラベルには「正常な中性脂肪値と健康な心臓をサポートする」と表示されており、さらに「免疫機能を最適化するのを助ける」とHPには記載されている。レモンフレーバーで、価格は49.95ドル(60粒)である。

≫≫2013年8月2日発行 グローバルニュース速報より抜粋

▼Nordic Naturals社、CoQ10配合のサプリ発売(2013/04/09)

↳ http://newhope360.com/business/nordic-naturals-debuts-nordic-coq10-ubiquinol?cid=nl_npi_daily

オメガ3サプリメントのトップメーカーNordic Naturals社は、カネカ社の「CoQ10 Ubiquinol」を100mg配合した「Nordic CoQ10 Ubiquinol(TM)」を発売した。血糖値改善、心臓の健康促進を訴求し、スタチン薬を服用している人、抗酸化サポートがほしい40代の人に推奨のサプリメントとなっている。

同社では、オメガ3も含めた、アンチエイジング、中高年の健康維持を訴求した商品ライン「Omega+CoQ10(R) and Omega LDL(TM)」を展開しており、同品もこの一部にラインナップされる。価格はソフトカプセル60粒(約1カ月分)が59.95ドル(約6,000円)。

▼Nordic CoQ10(TM) Ubiquinol

↳ http://www.nordicnaturals.com/en/Products/Product_Details/514/?ProdID=1689

≫≫2013年4月19日発行 グローバルニュース速報より抜粋

□■ 編集後記

「機能表示制度を解禁します」という安倍総理大臣の記者会見に度肝を抜かれて1年、新制度の中身が見えてきて、来年の制度がこれまでよりもさらに現実味を帯びてきたように思います。

「けんしょくこん 2014 年」で発表されていた「健康食品で改善したいこと」という調査結果を見ても、「血圧」「コレステロール」「中性脂肪」「体脂肪」など今回とりあげた生活習慣病予防に関するカテゴリーは、多くの人々が健康食品の機能性を求めている分野であることがわかります。

今回の新制度では消費者に有効性や安全性など情報を「わかりやすい形」で公表することが盛り込まれています。

日本の消費者が賢く健康食品を活用できる環境が間もなく訪れること、本当に楽しみにしています。

GNG スタッフ メルマガ担当 梶川 典子

◆ 健康食品ワールド バックナンバーのご紹介 ◆

「健康食品ワールド」は、健康食品業界に関するニュースを国内マーケット、海外商品など様々な視点から纏めた情報マガジンです。

毎月テーマに沿って関連情報を集めお届けしております。

先月までに取り上げたテーマは下記のとおりです。バックナンバーをご希望の方には、別途お送りさせていただきますので是非ご連絡ください！

- 第 1 回：ダイエット
- 第 2 回：エナジードリンク
- 第 3 回：美肌
- 第 4 回：キッズニュートリション
- 第 5 回：オメガ3
- 第 6 回：ビタミンD
- 第 7 回：レスベラトロール
- 第 8 回：プロテイン
- 第 9 回：シニアニュートリション

- 第10回：プロバイオティクス
- 第11回：関節の健康
- 第12回：ナチュラルヘルシー
- 第13回：2013年世界の健康食品業界の10大トレンドをご紹介
- 第14回：顧客視点のベネフィットでみる2012年の成長カテゴリー
- 第15回：免疫
- 第16回：生活習慣病 糖尿病編
- 第17回：オメガ3脂肪酸
- 第18回：健康食品機能性表示へ DSHEA ガイドブック（無料）のご案内
- 第19回：シニアニュートリション：脳健康
- 第20回：機能性表示容認へ～消費者への啓蒙～
- 第21回：ASEAN ハーモナイゼーション
- 第22回：ロコモティブシンドローム予備軍
- 第23回：スーパーフルーツ
- 第24回：機能性表示制度：新表示制度への対策は万全ですか？
- 第25回：2013年の世界のニュートリション市場
- 第26回：プロバイオティクス
- 第27回：更年期（以降）の女性の健康
- 第28回：消費者に分かりやすい表示

今回ご紹介した情報には、「グローバルニュートリション研究会」の配信資料から抜粋・引用した内容が含まれています。

研究会の詳細は以下よりご覧ください。

↳ <http://www.global-nutrition.co.jp/special/index.php?id=54>

また、サンプルなど資料をご希望の際は、こちらからお問い合わせください。

↳ <http://global-nutrition.co.jp/inquiry/inquiry.html>

□■ ご意見をお待ちしています！

今回の配信内容に関するご意見、ご質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

株式会社グローバルニュートリショングループ
〒171-0021 東京都豊島区西池袋 5-17-11 ルート西池袋ビル 8F

〒【 電話でのお問い合わせ 】

↳ 03-5944-9813

〒【 メールでのお問い合わせ 】

↳ info@global-nutrition.co.jp

〒【 メールアドレス変更のお手続き 】

↳ info@global-nutrition.co.jp

※新しいメールアドレスを記載の上ご連絡ください。

〒【 新規配信登録 】

↳ <https://global-nutrition.smktg.jp/public/seminar/view/1>

〒【 配信解除 】

↳ [URL]

□=====■

編集・発行:株式会社グローバルニュートリショングループ

<http://global-nutrition.co.jp/>

Copyright(C) Global Nutrition Group, Inc.

All rights reserved.

■=====□